



発行所  
八尾市消防団  
発行責任者  
八尾市消防団長  
小角道男  
八尾市高美町5-3-4  
TEL(072)992-0119  
FAX(072)992-7722



消防出初式

平成23年1月10日(月)、大阪府中部広域防災拠点において、消防職員・団員、総勢457名、車両36台が参加し、八尾市消防出初式が挙行されました。

当日は、晴れてはいたものの寒い一日となりました。

式典は、消防ヘリの祝賀飛行と救助隊員によるリペリング降下に始まり、幼年消防クラブ員、音楽隊、消防職員・団員による分列行進の後、自動車部隊の行進へと展開されました。

整列の後、国旗掲揚、殉職者に対する黙祷、市長並びに団長より、団員に対しそれぞれ表彰が行われました。

訓練では、消防救助隊によるNBC(核・生物・化学)災害対応訓練が披露され、最後は、幼年消防クラブ員、消防職員・団員による一斉放水で幕を閉じました。

新年を迎え、消防団員として訓練や地域の防災活動に一段と気を引き締めて取り組んでいかなければならないと痛感しました。

龍華分団 廣岡 勝

更なる飛躍をめざして



八尾市消防団長 小角 道男

この度、東北地方太平洋沖地震により、被災された皆様には心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈りいたします。また、地元消防団員をはじめ消防関係者の皆様には被災されながらも消防活動に励んでおられることに対し、深く敬意と感謝をいたすところでございます。

さて、本市消防団員の皆様には、常日頃、火災をはじめとするあらゆる災害から、市民の安心・安全を守るため、昼夜を分かたず献身的に活躍されていることに対し、深く敬意を表する次第であります。

また、消防団活動を陰で支えていただいておりますご家族の皆様には、心より厚くお礼申し上げます。

今回の地震をはじめ、大規模な自然災害が相次いで発生している中、地域防災力の向上が大きな課題となっております。

その中で私たち消防団は、地域防災の中核として大きな期待を寄せられているところであり、本市消防団といたしまして、消防団活性化総合計画に基づき、魅力ある組織づくり・災害対応力の向上等をめざし取り組んできたところであります。

この「火の見櫓」も、消防団活動を多くの方に知っていただき、やりがいと魅力ある消防団をつくるために平成10年2月に創刊されて以来、今回で第27号の発刊となりました。これも本業のかたわら夜遅くまで頑張つてこられた多くの広報部会の皆様のおかげと感謝しております。

一方訓練におきましては、各分団での定期的な訓練のほか、昨年は猛暑の中、厳しい訓練にも耐えて、大阪府消防大会の小型ポンプ操法の部で見事優勝を果たしました。このことは、この上ない喜びと誇りであり、団員の士気高揚に大きく寄与したところ です。

この優勝を契機として団員相互の連携をより強化し、消防団組織の結束を図り、地域の安全と信頼のため一層精進を重ねていく決意でございます。

団員の皆様におかれましても、

「市民の安心・安全」のため、組織の充実・強化と魅力ある消防団づくりに一層のご協力をお願いいたします。最後にになりましたが、団員並びにご家族皆様のご健康、ご多幸をお祈り申し上げます。いさつといたします。



大阪府消防表彰受章

消防に対する功績が多大な消防職・団員に対しての表彰が行われ、本市からも消防庁長官表彰をはじめとして多くの団員が栄えある表彰を受章しました。

【消防庁長官表彰】  
○永年勤続功労章  
山本分団 副分団長 村島 友忠

【大阪府知事表彰】  
○消防功労章  
八尾分団 分団長 橋本 修  
南高安分団 分団長 森山 敏  
志紀分団 副分団長 大窪 光一

【大阪府消防協会会長表彰】  
○勤続章  
西郡分団 副分団長 内山 正  
八尾分団 副分団長 川合 清隆  
大正分団 副分団長 杉本 啓一  
志紀分団 副分団長 上野 正巳

○勤続章  
西郡分団 副分団長 内山 正  
八尾分団 副分団長 川合 清隆  
大正分団 副分団長 杉本 啓一  
志紀分団 副分団長 上野 正巳

○勤功章  
久宝寺分団 分団長 横山 典久  
南高安分団 副分団長 松村 浩司  
高安分団 副分団長 小西 光往  
高安分団 副分団長 植野 勇  
志紀分団 部長 森 秀樹  
志紀分団 部長 田中 健

○精勤章  
西郡分団 班長 嶋林 正雄  
大正分団 部長 今西 正信  
南高安分団 班長 松倉 浩  
南高安分団 班長 井上 道則  
南高安分団 班長 杉田 晃  
高安分団 班長 西野 秀一  
志紀分団 班長 松本 昌幸  
志紀分団 班長 山科 輝明  
志紀分団 班長 西村 輝彦

【平成22年度大阪府水防表彰】  
団本部 副団長 久田 弘義  
長年にわたり水防に尽力した功績から久田副団長が「大阪府水防表彰」を受賞され、八尾市役所で授与式が執り行われました。



### 分団紹介 西郡分団

市民の皆様、こんにちは。

八尾市消防団広報誌『火の見櫓』を読んでくださりありがとうございます。第27号の分団紹介は、八尾市消防団10分団の内、西郡地域を管轄する西郡分団です。

お伝えいたしますのは、私、昨年入団いたしました坂根和男です。まだ一年生なので、乱筆乱文をお許しください。

団員構成は、分団長、副分団長、部長、班長及び団員7名の11名です。皆とても、消防好きな熱い男達です。

分団の装備品は、火災時に建物を破壊する道具で、とび口やバル等のほか、地震災害時の救助工具セット、そして、主力は何といつても平成19年度に更新配備された小型動力ポンプ付積載車です。

積載車には、コンピューター制御の小型ポンプとホースカーを積んでいます。とても新しい積載車なので、自然と訓練にも気合いが入ります。

また、実際の火災では、消火のため道路上にもホースを延ばします。ホースに水が通ると7cm程度の段差ができ、つまづいたり、こ



ろんだり危険ですので迂回するなどしてください。皆様のご協力をお願い致します。

普段の活動は、毎月第一日曜日に定例会議をやっています。また、訓練や歳末特別警戒はもとより、福祉委員会と共に、隔月の一斉清掃にも参加します。

その他、5月には木村重成公をお祭りする木村重成祭、7月には、地域にある保育所のお泊り保育の警備、8月は納涼盆踊り大会に参加し、10月には西郡天神社の交通整理と地域に密着した活動をしています。

『自分達の地域は、自分達で守る』の精神で、河野分団長のもと、11名全員が一丸となって楽しく、そしてチームワークをもって、今後も西郡分団を活性化させて行きたいと思えます。

西郡分団 坂根 和男

### 林野火災訓練



平成23年2月20日(日)、恩智総池において、南高安分団の林野火災訓練が実施されました。ハイカーのタバコの投げ捨てに

より出火し、延焼拡大したとの想定で、森山分団長 指揮のもと、車両5台・可搬動力ポンプ3台・40名の団員が参加して、恩智総池を囲みこむ体勢で、東側には可搬動力ポンプにより2線2口、西側には、積載車から、1線2口の放水を行いました。

その後、地域の役員さんからの激励の挨拶と、松村方面隊長の講評で訓練終了となりました。

この訓練では、各隊の連携が重要であり、南高安分団が一つになった訓練となりました。

南高安分団 竹澤 寛





### 歳末特別警戒激励巡視

平成22年12月29日(水)、30日(木)の2日間にわたり、八尾市全域で歳末特別警戒が実施されました。山本分団の4分隊では28日(火)から3日間、歳末特別警戒を実施しております。

初日の28日は、主に消防車による巡回を実施致しました。初日と言うこともあり、活動範囲内をくまなく時間を掛けて巡回しました。

2日目の29日には、市内の全分団屯所に対して、消防団長の激励巡視が行われました。当日は、この冬一番の寒さの中、山本分団の各屯所には、午後11時頃から、それぞれの屯所に到着され、団員が整列する中、激励のお言葉をいただき、団員一同、一層気を引き締め、残りの警戒に当たる決意を固めました。

最終日の30日には、屯所の大掃除や、消防車の洗車です。1年間の汚れを落としながら、今年一年の活動を振り返り、また来年から気持ちを新たに頑張っていかなければならないという思いになりました。

また、この3日間は、山本分団



のそれぞれの分隊との交流にもなっています。巡回に行く度に、他の分隊の屯所に寄って親睦を深めております。山本分団が一致団結して消防活動ができるのも、この交流があつたことだと思っております。

今後も消防活動は勿論の事、地域の活動にも積極的に取り組み、地域全体で防火・防災意識を高めていきたいと思います。

山本分団 川田 剛

### 消防団ポンプ取扱い訓練



平成22年11月14日(日)、八尾市消防本部において、消防団ポンプ取扱い訓練が実施されました。

訓練の前半は屋内訓練場で基本動作を理解するため、映像を観ながら訓練説明を受け、その後、屋外訓練場において、筒先・ホースの担ぎ方、ホース延長等の基本的な動作の確認、消火栓の蓋の開閉及び水利部署の方法を学び、最後に、各分団5名による積載車を使用しての実戦操法を実施しました。

私も実戦操法の隊員として参加しましたが、普段と勝手が違う状況の中、ミスも多々あり、改めて訓練の必要性、基本動作の大切さを学びました。

南高安分団 坂本 裕規



### 太田地区自主防災訓練

平成22年11月28日(日)、八尾市立大正小学校で、地域住民約300人、消防署及び大正分団が参加して、自主防災訓練が実施されました。

訓練は、八つの項目に分かれて、

- ・救急講習
- ・ロープ結索
- ・初期消火
- ・煙中体験
- ・バケツリレー
- ・災害情報などの聞き方
- ・炊きだし



と、どれも災害時には欠かせないものばかりで、大正分団も小型ポンプ操法の実演を行いました。

それぞれの訓練に参加して思ったことは、災害が起っても最善の対処ができるように日頃より訓練し、地域との連携を高めていくことが地元に着目している我々消防団の役割であると再認識することができました。

大正分団 中川 憲一

### 大正北小学校聞き取り学習

平成22年11月29日(月)、大正北小学校において、大正分団による小学校4年生を対象とした聞き取り学習が行われました。

この授業の目的は、小さい時から防火防災に関心を持ってもらうことで学習内容は、

- 消防職員と消防団員の違い
- 八尾市の災害件数や過去の事例紹介
- 初期消火の重要性
- 消防車両及び資機材の説明等です。

例年通り、積載車の説明、水消火器放水体験等をしてもらいました。子ども達に大人気の消防車による放水体験を、今年は小型ポン



プに変更して行いました。はじめは、緊張気味の消防団員を前にし、興味津々の子ども達でしたが、ポンプ操法が始まるとみんな大喜びで、大きな声援を送ってくれました。

この様な活動を通じて、地域の皆様に火災の恐ろしさ、防災について考える場を持つていただければと思います。私たち消防団員は、これからも訓練を重ね、地域の安全を守るために頑張っていきたいと思えます。

関係者の皆様のご理解とご協力により、貴重なお時間を作ってください、子ども達も怪我することなく無事に終えることができました。このことを深くお礼申し上げます。

大正分団 小林 邦章

### 八尾分団消防訓練

平成22年11月14日(日)、萱振地区集会所において、住民の皆さん参加のもと消防訓練が行われました。

訓練内容は、住民の通報で消防団が出勤し、集会所に消防車を入れ放水なしのポンプ操法を実施しました。

住民の皆さんは消防職員の指導のもと、水消火器を使用した初期消火や負傷者の搬送方法を真剣に学んでいました。

私は、ポンプ操法で機関員を担当しました。顔見知りの方が多く少し恥ずかしかったですが、住民のみなさんに消防団活動を理解していただき、防災意識を高めていくのに必要な訓練だと思いました。

八尾分団 中村 佳照





# 健康診断

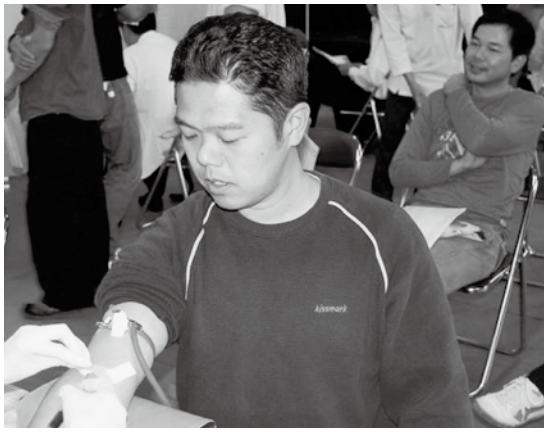
平成22年11月13日(土)、消防本部において健康診断が行われました。

この健康診断は毎年行われるもので血液検査や尿検査等さまざまな検査が実施されます。

年齢を重ねると誰もが自分の身体に多少の不安を感じるものです。検査の結果、異常がみられた方は少しでも早く病院で診察してもらうことをお勧めします。

私自身も健康な身体を維持するために日頃の生活習慣を改めようと思えました。

高安分団 山脇 孝夫



# 歳末警戒(一人暮らし防火診断)

平成22年12月4日(土)、消防署と合同で、一人暮らしの高齢者宅への訪問を実施しました。

これは、災害時に単身で避難することが困難な状況にある、高齢者のお宅を定期的に巡回しているもので、火の元の安全や消火設備の設置状況などを点検します。

当日訪れたお宅は7件で、昼下りの訪問に対し、お元気に応対される姿がとても印象的でした。

その一方で不在宅も多く、また消火器のセルスマンと誤解されたのか、門前払いを受けたこともありました。

地域を守る消防団員として、普段からのコミュニケーション不足を覚えると同時に、高齢化に伴う地域の実情をもっと認識しておかなければ、と感じた今回の訪問でした。

久宝寺分団長 横山 典久



# 秋季消防総合訓練



平成22年11月15日(月)、午後4時から八尾市老原(株)メデイセオ南大阪ALCにおいて、消防関係車両9台、自衛消防隊(社員)、消防職員、団員総勢98名で秋季消防総合訓練が実施されました。

工場4階部分の改修工事中に出火し、同階及び直下階に延焼拡大中で、逃げ遅れた多数の要救助者がいるとの想定で、本番さながらの緊迫した空気の中、はしご車による救出、救助隊の4階からロープを使用した要救助者の救出、負傷者の救護、消火作業等々が行わ

れました。

最初は、戸惑いながらでしたが訓練が進むにつれて自分自身どのような行動すべきかが分かり、役割を果たすことができました。

今回の訓練で得たことを今後の消防団活動で活かせるよう心掛け、努力していくようにしたいと思います。

地域の方々に、このような火災が発生しないため防災啓発等を行うことが消防団員の一番の役割と感じました。

志紀分団 西村 俊彦



### 文化財消防訓練

平成23年1月26日(木)、八尾市神立の玉祖神社及び周辺において文化財消防訓練が行われました。玉祖神社は、千三百年の歴史があり八尾市指定の文化財が数多く所蔵されています。

訓練は、午前9時から神社関係者、消防本部、消防団により、重要物の搬出、神社内延焼想定箇所への放水訓練並びに救急隊による応急処置訓練等が本番さながらの緊迫感の中行われました。

当日は、消防本部より66名、消防車8台並びに高安分団より熱心な団員達が多数参加しました。

午前10時半、南野署長の講評により訓練終了となりました。

私ごとですが、消防団に入団するまでは、このような訓練が行われている事すら知りませんでした。一般の方々にも広く防火、防災に関心を寄せていただける事を消防団の一員として願います。

高安分団 阪井 俊樹



### 久宝寺地区自主防災訓練

平成22年11月21日(日)、久宝寺小学校において久宝寺地区の自主防災訓練が行われました。

晴天に恵まれ絶好の訓練日和となり、地区内の区域ごとによる避難訓練を皮切りに、小学校に続々と参加されること約650名に及びました。

体験コーナーとして体育館では、AEDや三角巾の使い方など校庭では、応急担架の作り方やロープの結び方、水消火器による初期消



火、参加者によるバケツリレーなどがあり消防署員による実演と丁寧な指導のもと、真剣に取り組んでいました。



私達消防団員も水消火器の補水等を手伝い、落ちた的を直しに行くと、体験者に水をかけられるアクシデントにも見舞われましたが、充実した訓練となりました。

今後も地域防災の要として、市民から信頼される消防団として活躍していきたいものです。

久宝寺分団 吉川 明憲



### 厚生事業ボウリング

平成22年10月28日(木)、八尾市消防団厚生事業として、市長参加のもとボウリング大会が行われました。

当日は、148名の団員が参加し、熱戦が繰り広げられました。結果は次の通りです。

- |       |      |       |
|-------|------|-------|
| 優勝    | 市長   | 田中 誠太 |
| 準優勝   | 曙川分団 | 吉川 公三 |
| 第三位   | 山本分団 | 石井 一夫 |
| ハイゲーム |      |       |
| 215点  | 市長   | 田中 誠太 |





# 救急医療相談窓口

## 救急安心センターおおさか

病院に行ったらいいの？  
 救急車を呼んだ方がいいの？  
 応急手当の仕方が分からない。  
 ……など



迷ったらまずここへ

# #7119

(携帯電話・固定電話(プッシュ回線))

## 06-6582-7119

(固定電話(IP・ダイヤル回線など))

24  
時間

365  
日体制

《緊急時は、迷わず 119番へ》

市民からの救急医療相談を「医師」「看護師」「相談員」が24時間受付します。

### 八尾市消防本部

Phone number 06-6582-7119 受付時間 24時間体制

「救急安心センターおおさか」は、みなさんが「病院に行くべき?」、「救急車を呼ぶほうがいいのか?」、「応急処置の仕方がわからない・・・」というように、判断に困った場合の救急電話相談や病院照会に対応するサービスです。医師や看護師など医療知識のあるスタッフが24時間365日体制でみなさんの相談にお応えします。緊急性が高いときは、すぐに救急車を出場させるなど、1本のお電話でみなさんに安全・安心を提供いたします。



八尾市消防本部



### ● 広報部員名簿 ●

委員長

西郡分団

副委員長

八尾分団

南高安分団

委員

久宝寺分団

西郡分団

八尾分団

龍華分団

大正分団

曙川分団

南高安分団

高安分団

山本分団

志紀分団

澤田吉行

川崎光昭

松本圭司

吉根明憲

坂井和男

今井明憲

廣岡和男

兼山和男

小林憲一

中川憲一

杉田憲一

野中憲一

竹澤憲一

坂本憲一

山脇憲一

阪井憲一

川田憲一

寺内憲一

山西憲一

山口憲一

村田憲一

通俊伸

俊亮

孝俊

剛樹

### 編集後記

皆様のご協力のおかげで無事第27号発刊となりました。記事の提出から構成までスムーズに進み本当にありがとうございました。澤田吉行